日米豪印首脳会合共同声明:骨子

- ◆ 包摂的かつ強靱な自由で開かれたインド太平洋への強固なコミットメントを改めて確認。
- ◆ ASEANの中心性と一体性への揺るぎない支持を再確認。AOIPの実施を支援することにコミット。
- ◆ PIFの「2050年戦略」を尊重しつつ、太平洋島嶼国と連携していくことをコミット。
- ◆ インド洋地域における協力強化を確認。「インド太平洋に関するIORAアウトルック」への支持を表明。
- ◆ 日米豪印は「<u>善を推進する力(force for good)</u>」となるべく協働。

◆ 実践的協力

- ✓ **気候変動:**「気候変動適応・緩和パッケージ(Q-CHAMP)」の下、気候・クリーンエネルギーに係る協力強化、適応・強靱性を促進。「クリーンエネルギーのサプライチェーンに関する原則声明」及び、地域のエネルギー安保強化、必要な材料や技術の生産拡大・多様化等のための研究開発や実行可能性調査を支援する「クリーンエネルギー・サプライチェーン・イニシアティブ」を発表。
- ✓ 健康安全保障:「ワクチン作業部会」をより広範な「健康安全保障パートナーシップ」に発展。感染症の発生を検知し対応するため、医療従事者育成、感染症サーベイランス、電子的な保健情報システム、机上演習等による流行時の対応における協力などの能力構築支援を実施。
- ✓ インフラ:質の高い、持続可能で気候変動に強靱なインフラ投資を支援。1,800人以上の地域のインフラ実務者向けの「日米豪印インフラ・フェローシッププログラム」を発表。「海底ケーブルの連結性と強靱性のためのパートナーシップ」の立ち上げ。
- ✓ 重要・新興技術:オープンRANにつき、セキュリティ報告書の発表を歓迎。パラオで協力。「重要・ 新興技術標準に関する原則」を発表。民間部門主導の投資家ネットワーク(QUIN)の立上げを 歓迎。新興技術を通じて農業におけるイノベーションを推進するための共同研究を支持。
- ✓ サイバーセキュリティ: サイバーへの意識向上を目的とした「サイバー・チャレンジ」を歓迎。「ソフトウェア・セキュリティに関する共同原則」及び「重要インフラのサイバーセキュリティに関する共同原則」を歓迎。

日米豪印首脳会合共同声明:骨子(続き)

- ✓ 宇宙:気候変動・災害への対応並びに海洋資源の持続可能な利用の強化のための宇宙技術等の重要性を認識し、地域の能力構築支援の継続で一致。
- ✓ 海洋状況把握のためのインド太平洋パートナーシップ(IPMDA): IPMDAが開始されたことを歓迎。リアルタイム・総合的・効率的な海洋状況把握のためのデータ提供。海洋安全保障を支援し、国際法を擁護すべく、地域のパートナーとの協働強化にコミット。
- ✓ 日米豪印フェローシップ:本年8月から、日米豪印4か国の計100名の第1期フェローが米国で学業を開始することを歓迎。これら次世代を担う人材は、4か国がイノベーションを牽引する一助。

◆ 国際·地域情勢

- ✓ 東シナ海・南シナ海:ルールに基づく海洋秩序への挑戦に対処すべく、UNCLOSを始めとする国際法遵守並びに航行及び上空飛行の自由の維持の重要性を強調。カヌは威圧によって現状変更を試みる一方的な行動に強く反対することで一致。
- ✓ 国際・地域のパートナーとの連携:国際及び地域のパートナーとともに、世界の平和、繁栄及び開発を支える国際機関及びイニシアティヴを強化。包括的な国連改革にコミット。
- ✓ ウクライナ:国際法の遵守、紛争の平和的解決、並びに領土一体性及び主権を含む国連憲章の原則の尊重を支持。ウクライナで激化している戦争に深い懸念。ウクライナに対し人道支援を提供。我々の時代が戦争の時代であってはならないと自覚。国連憲章と整合的な形での包括的、公正かつ永続的な平和を支持。この文脈で、核兵器の使用又はその使用の威嚇は深刻かつ許されないことで一致。
- ✓ 北朝鮮:北朝鮮の弾道ミサイル発射及び核兵器の追求を非難し、国連安保理決議に整合的 な朝鮮半島の完全な非核化へのコミットメントを再確認。拉致問題の即時解決を要求。
- ✓ ミャンマー:暴力の即時の停止、拘束された人々の解放及び民主主義への移行を再要求。
- ✓ テロリズム:テロリズムと暴力的過激主義を強く非難。「テロ対策作業部会」を通じた協力を強化。
- ◆ 2024年にインドが次回の日米豪印首脳会合を主催する。